

代表事例 No.	3	取組みタイプ	B.危険回避
事例テーマ	ワークショップ手法を活用し、最初に地域住民の計画作成への関わり方について合意へ		
地域	関東（神奈川県）	事例種別	異种植え替え
管理者	相模原市	事業延長	約 2.5km

事例概要	別路線でのケヤキ倒木事故を契機とし、既存木の取扱い方や更新樹種を検討しました。利用者の意見やアイデアを反映させる必要があると判断し、市民を対象としたワークショップを行い、合意しました。																																																				
事例テーマの解説	地域住民等の計画作成への関わり方について、合意形成の初期に検討したのち、具体的な内容について検討を進めました。具体的には、初回のワークショップにて行政と市民とが連携して方針を作成する必要性について合意し、第2回目では、地域住民への啓蒙活動の必要性について検討しました。その後は、約1年という比較的短い期間で、最終的な合意に至っています。																																																				
合意形成のプロセス	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>経過年数</th> <th>方法</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 17 年 3 月</td> <td>1 年目</td> <td>ワークショップ①</td> <td>市民</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容等】現状把握・ケヤキに対する市民の想いの把握。行政と市民がそれぞれ歩み寄り、努力しながら方針を作成していくことが必要であることを合意した。</td> </tr> <tr> <td>平成 17 年 7 月</td> <td>1 年目</td> <td>ワークショップ②</td> <td>市民</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容等】現地見学会の実施、課題点の抽出。まちの並木を自分たちの手で守れるように、意識の徹底や啓発活動、指導等を行う必要があることを合意した。</td> </tr> <tr> <td>平成 17 年 10 月</td> <td>1 年目</td> <td>ワークショップ③</td> <td>市民</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容等】並木の改善策の検討。気づいた箇所、市民からの指摘箇所に随時対応していく。また、沿線の人が抱える問題や苦労を共通認識し、それを解決する方策を検討した。参加者が各自自治会に持ち帰った。</td> </tr> <tr> <td>平成 17 年 12 月</td> <td>1 年目</td> <td>ワークショップ④</td> <td>市民</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容等】並木のあり方・方針の設定、改善策の具体化。第3回で決定した内容を再度確認した。</td> </tr> <tr> <td>平成 18 年 2 月</td> <td>1 年目</td> <td>ワークショップ⑤</td> <td>市民</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容等】並木の樹種の検討。新たに植える樹木は、ヤマボウシにすることで合意した。</td> </tr> <tr> <td>平成 18 年 5 月</td> <td>2 年目</td> <td>ワークショップ⑥</td> <td>市民</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容等】並木のあり方、樹種の検討。条例、法律に従って整備することで合意した。</td> </tr> </tbody> </table>	時期	経過年数	方法	対象者	平成 17 年 3 月	1 年目	ワークショップ①	市民	【内容等】現状把握・ケヤキに対する市民の想いの把握。行政と市民がそれぞれ歩み寄り、努力しながら方針を作成していくことが必要であることを合意した。				平成 17 年 7 月	1 年目	ワークショップ②	市民	【内容等】現地見学会の実施、課題点の抽出。まちの並木を自分たちの手で守れるように、意識の徹底や啓発活動、指導等を行う必要があることを合意した。				平成 17 年 10 月	1 年目	ワークショップ③	市民	【内容等】並木の改善策の検討。気づいた箇所、市民からの指摘箇所に随時対応していく。また、沿線の人が抱える問題や苦労を共通認識し、それを解決する方策を検討した。参加者が各自自治会に持ち帰った。				平成 17 年 12 月	1 年目	ワークショップ④	市民	【内容等】並木のあり方・方針の設定、改善策の具体化。第3回で決定した内容を再度確認した。				平成 18 年 2 月	1 年目	ワークショップ⑤	市民	【内容等】並木の樹種の検討。新たに植える樹木は、ヤマボウシにすることで合意した。				平成 18 年 5 月	2 年目	ワークショップ⑥	市民	【内容等】並木のあり方、樹種の検討。条例、法律に従って整備することで合意した。			
時期	経過年数	方法	対象者																																																		
平成 17 年 3 月	1 年目	ワークショップ①	市民																																																		
【内容等】現状把握・ケヤキに対する市民の想いの把握。行政と市民がそれぞれ歩み寄り、努力しながら方針を作成していくことが必要であることを合意した。																																																					
平成 17 年 7 月	1 年目	ワークショップ②	市民																																																		
【内容等】現地見学会の実施、課題点の抽出。まちの並木を自分たちの手で守れるように、意識の徹底や啓発活動、指導等を行う必要があることを合意した。																																																					
平成 17 年 10 月	1 年目	ワークショップ③	市民																																																		
【内容等】並木の改善策の検討。気づいた箇所、市民からの指摘箇所に随時対応していく。また、沿線の人が抱える問題や苦労を共通認識し、それを解決する方策を検討した。参加者が各自自治会に持ち帰った。																																																					
平成 17 年 12 月	1 年目	ワークショップ④	市民																																																		
【内容等】並木のあり方・方針の設定、改善策の具体化。第3回で決定した内容を再度確認した。																																																					
平成 18 年 2 月	1 年目	ワークショップ⑤	市民																																																		
【内容等】並木の樹種の検討。新たに植える樹木は、ヤマボウシにすることで合意した。																																																					
平成 18 年 5 月	2 年目	ワークショップ⑥	市民																																																		
【内容等】並木のあり方、樹種の検討。条例、法律に従って整備することで合意した。																																																					

従前の樹種と写真	植え替え後の樹種と写真
<p style="text-align: center;">ケヤキ</p> 	<p style="text-align: center;">ヤマボウシ</p> 
<p>取組みの評価</p>	<p>(特記事項なし)</p>
<p>実施後の維持管理等への効果</p>	<p>【今後の期待または課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政との協働による持続的な活動実施の要望等が発起される場合を想定し、今後互いに協力し合って維持管理を行っていきます。
<p>その他の工夫点・アイデア等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「方向性」、「計画」の合意を図るにあたり、全 6 回のワークショップを開催し、全ての回で同様の市民公募を行いました。 ・参加者全員で植栽の現状について認識を共有し、今後整備を実施する上で重要と考えられる内容を整理しました。 ・地域が一体となった並木の保全についての検討が望まれます。
<p>公開資料URL</p>	<p>(該当なし)</p>